



## 第3回国際自殺対策フォーラム

# 自殺対策の政策評価の 基礎となるエビデンスの 提供と活用

参加費  
無料

※事前申し込み制です。

日時 平成31年2月2日(土) 10:00-16:00(開場9:30)

場所 一橋講堂 中会議場1・2

平成30年度中に日本のすべての基礎自治体で地域自殺対策計画が策定されることになり、全国どこでもナショナルミニマムとしての自殺対策が等しく推進される体制が整うことになりました。本フォーラムでは、地域自殺対策計画の策定を受けて、次の課題となる自殺対策の政策評価の基礎となるエビデンスをいかに蓄積し、その成果をどのような方法で社会に還元していくかという観点で、討議を行います。

基調講演では韓国の忠清南道広域精神健康福祉センター副センター長の金先生をお招きし、韓国の農村地域における先進的な自殺対策の取組についてお話いただきます。

### 基調講演

金 渡潤 (KIM DOE YOON) 先生 (忠清南道広域精神健康福祉センター 副センター長)

司会：本橋 豊 (自殺総合対策推進センター長)

### シンポジウム

#### 自殺対策の政策評価の基礎となるエビデンスの提供と活用

近藤 克則 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長)

高橋 義明 (公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所 研究本部 主任研究員)

本橋 豊 (自殺総合対策推進センター長)

金子 善博 (自殺総合対策推進センター 自殺実態・統計分析室長)

藤田 幸司 (自殺総合対策推進センター 自殺総合対策研究室長)

【申込】60名(先着順) 自殺総合対策推進センターウェブサイトの  
申込フォームよりお申し込みください。

<https://jssc.smtg.jp/public/seminar/view/133>

申込受付期間：平成31年1月25日(金) 16時迄

【使用言語】英語

【主催】国立精神・神経医療研究センター 自殺総合対策推進センター (JSSC)

【後援】厚生労働行政推進調査事業費補助金 (政策科学総合研究事業 H29- 政策 - 指定 - 004)

